

# とよたか美肌通信

8月号 Vol.61



お魚さんたちが楽しそうしているすてきな表紙の8月号☆≡  
歌を歌うこと、絵を描くこと  
本を読むことが好きな女の子が描いてくれました♡♡  
なわとびも得意だそうです  
ありがとうございました～!!  
院長はじめ、スタッフ一同心より感謝いたします。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮膚科クリニック\*

ご自身の横顔（真横）、最近いつご覧になりましたか。案外自分の横顔というのは盲点で顔の正面は見ていてもそれ以外をじっくり見ることはなかなか少ないかと思えます。しかし他人は自分の横顔を見ていることは多いはずで、その証拠にお子様や家族に顔の側面のシミを指摘されて来院される方は少なくありません。そこで試しに横顔を写メで撮ってみてください。きっと今まで自分では気付かなかったシミやシワ、更には顎から首にかけてのタルミに気付くかも知れません。

美容皮膚科では顔の写真を撮影しカルテに保存しておくことが多くあります。その際に思うことは、実際に私が診る患者様の生のお顔よりも写真では老けて写ります。その理由はこうです。自分で自分の顔を見る機会が最も多いのは、圧倒的に鏡を通してで、特に女性はメイクをする時など自分では気付いていないでしょうが明らかに表情を作っています。目を大きく開き、顎を引いて、口角を上げいわゆる「きめ顔」にもっていきながらメイクをします。化粧室で鏡に映る自分を見る時も同様です。いわば、鏡を見ている自分の綺麗さは他人が感じる綺麗さの2割増し位なのかも知れません。

また皆様は、不意に他人に撮られた写真の自分に少しがっかりしたことはありませんか。それは撮られる瞬間に自分のきめ顔になっていなかったり、光の方向が自分の前からなのか後ろからなのか等、複数の条件が悪くなっているからです。特に地下鉄等のガラス前に立って外を眺めている時、夜間であれば自分の後方から光が当たりガラスの向こう側は真っ暗、そこに映る自分が老けたなあーと思うことがあるかも知れません。それは、光の吸収や散乱の条件が悪いため、目の下の”くぼみやクマ”が目立ったり”ゴルゴラインや法令線やマリオネットライン”が強調されてしまうからで、夜の地下鉄のガラスは悪条件満載なわけです。もう立つのは止めましょう！

そうは言ってもなぐさめてばかりもいられません。なぜならそれだけでは若返ることはないからです。生きていく限り老化は進んでいきます。しかしその老化曲線を緩やかにすることは可能です。そればかりか、多くのシミやシワを改善させることも可能です。地球上で生きていく限り重力がかかり、時間が経つにつれ筋力が落ちてしまいます。顔のシワはその重力に負け形成されるのです（無論他にも多くの理由がありますが…）。重力を無くすことは出来ませんが落ちた皮膚や組織をリフトアップさせ引き上げ効果を出し、真

皮にも働きかけてコラーゲンやエラスチンの増を計ることは可能です。

切らずに局所麻酔で挿入可能な「シルエットソフト」さらに侵襲の少ない「タイタン」体の中からも考えていきたい方には「血液クレンジング」皮膚のコラーゲン生成には欠かせないビタミン剤補給には、「高濃度ビタミンC点滴」や「ニンニク注射」、それから「プラセンタ（ヒト）注射や内服」等々、是非一度ご相談頂ければお悩みに沿ったアドバイスを致します。

「シミやシワは人生の奥深さを表すもの」「履歴書」等と表現されるかも知れません。しかしやはりいつまでも若くいたいという気持ちは誰しも思うことではないでしょうか。一度いつもと少し違った角度からご自身の頑張ってきた顔を見て下さい。何かできないかしら？ きれいになったね！！ と言われたい患者様、ご相談をお待ちしています。

院長・拝